

日本企業における外国人研究者：

なぜ日本で働くのか、仕事の役割と直面する課題は何か？

Foreign Researchers in Japanese Companies: Why Work in Japan, What is Their Job Role and What Challenges Do They Face?

下記の通り、公開研究会をオンラインにて開催しますので、ご案内いたします。

■日時：2023年1月23日（月）15:00～16:00

■場所：Zoomセミナーの為、全てオンラインで開催いたします。

※お申込みされた方に参加用URLを前日までにご連絡いたします

■講演者：李 明（大阪大学グローバルイニシアティブ機構）

■言語：日本語

■概要：少子化に伴う労働力不足が見込まれる先進国を中心として、高度外国人材をめぐる獲得競争が全世界で加熱している。日本では2008年に「留学生30万人計画」が策定され、2020年を目途に30万人の留学生受入れを目指してきた。この留学生政策は、留学生受入れと連携させながら高度外国人材の受入れ拡大が経済成長戦略の具体的手段の1つに位置付けられている。したがって、「高度外国人材の卵」である日本の高等教育機関を卒業した留学生の定着についての研究は日本留学の強みや高度外国人材受入れの課題として極めて重要である。

新型コロナウイルスの流行は、留学生の移動に大きな影響を与え、学生が「いつ、どのように」留学するかだけでなく、「どこへ」留学・就職するかも変更を余儀なくされている。コロナ新時代の日本における高度外国人材の実態と課題をさらに検証する必要がある。本研究は、日本の高等教育機関を卒業した外国人研究者を対象とし、日本企業で働く動機、仕事の役割、及び直面している課題を明らかにすることを目的とする。

■その他

・本セミナーについては、ウェブ会議システム（Zoomミーティングを予定）を使用して実施いたします。開催時刻までにインターネット環境、PC等端末（Webカメラ、マイクが必要）のご用意をお願いいたします。

お申し込みはセンターHPよりお願いします。

<https://rihe.hiroshima-u.ac.jp/>

